

キボシチビコツブゲンゴロウ

Neohydrocoptus bivittis

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

種の概要

体長3.0～3.4mm。体色は淡い黄褐色で頭部、前胸背、上翅にはそれぞれ特徴的な黒い斑紋がある。抽水植物が繁茂し泥の多い大きな池沼に生息することが多い。成虫は植物の根がある泥中に生息し、水中にはあまり泳ぎ出ない。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

加西市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○

特記事項

新規追加種

兵庫県では2022年に初めて加西市の池で発見、記録された。全国的にも生息地が少ない種類であり、特殊な生態を踏まえて保全等を考える必要がある。

保護上の留意点

池沼環境の保全